

# 研究開発における戦略的な KPI の設定と活用の考え方

～研究開発活動の生産性・成果評価・経営貢献への Key Performance Indicator＝重要業績評価指標とは～

■日時■ 2018年 6月12日 火曜日 13:00～17:00

■会場■ 東京・麹町 企業研究会 セミナールーム

■講師■ コーポレート・インテリジェンス株式会社 代表取締役社長 武富 為嗣 氏

《講師プロフィール》

大手エンジニアリング会社、アーサー・D・リトル、AT カーニー、SAP などを経て、現在の会社設立。経営戦略、研究開発、M&A、サプライチェーンや IT のマネジメントのコンサルティングなど、20 数年の経験を有する。日本工業大学大学院技術経営研究科教授（プロジェクトマネジメント）を兼任。マサチューセッツ工科大学スローンスクール MBA、東京工業大学工学修士、早稲田大学理工学部卒

■本セミナーの特徴■ 以下の方針・目的で本セミナーを進めます。

中国のネット市場の急成長に見るデジタル破壊やEV化、自動運転、ライドシェアに見る自動車業界の構造変化と企業を取り巻く経営環境が目まぐるしく変わっています。

研究開発も、従来のテーマを追求するだけではなく、ネットを取り込んだビジネスモデルの構築や、M&Aやアライアンスによるエコシステムの構築などを想定した新規テーマの発掘と開発の推進が求められます。このような環境の変化に対応しながら研究開発を推進するには、従来の延長で開発テーマを強化するだけではなく、戦略的、効率的に資源配分を行いながら、時代に沿った仕組みを構築し、新時代の市場構造を想定した新製品を市場に投入して、グローバル競争の勝者になることが求められます。

ここでは、このような背景のもとに研究開発を効率的に推進するための戦略的な優先順位付けや効率化などの経営方針に沿った形で、どのような評価指標を採用すべきか、開発の特徴によってどういう評価指標が適しているか、どういう手順で指標設定を進めればよいかなど、経営目標に沿ったアプローチを提示し、具体的な指標に沿った管理を行い、効率的な運営が出来るようになる方法を習得し、実践で活用することを目的とします。

■ご参加を頂きたい皆様■

研究開発企画・事業部門の製品開発企画や経営企画部門などにご在籍され：

- ・ 研究開発全般のマネジメントの責任者や企画部門の方
- ・ 研究開発マネジメントの効率化の仕組みを社内に導入したい方
- ・ 研究開発プロジェクトの責任者としてプロジェクトを推進している方
- ・ 現在の研究開発の評価や管理に課題を抱えている方 を対象とします。

## ●参加要領●

●受講料● 1名（税込み、資料代含む）

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●当会ホームページからお申込み下さい。FAX、または下記担当者宛E-mailからもお申込み頂けます。

企業研究会セミナー

- お申込み後（開催日1週間～10日前までに）受講票・請求書をお送り致します。
- お申込後のキャンセルは原則お受け致しかねますので、ご都合が悪くなった際は、代理出席をお願い致します。
- 最少催行人数に満たない場合ほか、諸般の事情により開催を中止させていただく場合もございます。
- 申込書をFAXでご送信いただく際は、ご使用のFAX機の操作方法（O発信の有無など）をご確認の上、FAX番号のお間違えにご注意ください

一般社団法人 企業研究会

担当：早瀬 E-mail：hayakan@bri.or.jp

102-0083 千代田区麹 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

TEL 03-5215-3513 FAX：03-5215-0951

弊会ホームページからのお申込みが便利です。https://www.bri.or.jp

181521-1001※		18・6・12 研究開発～戦略的な KPI 設定・活用の考え方	
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-m			
部課 役職	フリガナ		
	お名前		
e-m			

※お客様の個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

13:00

## 1. 企業経営のパラダイムシフトと研究開発の新潮流

- ・デジタル破壊とビジネスモデルイノベーション
- ・自動車業界は構造変化、消費市場はネットへシフト
- ・無形資産対応を求められる研究開発

## 2. 研究開発の業務プロセスの標準化と横串の開発マネジメント

- ・まずは業務の標準化
- ・評価と承認の業務プロセス
- ・市場を意識した横串の開発マネジメント組織の活用
- ・アイデア創出から横串の組織で

休憩

## 3. 個々の研究開発プロジェクトのマネジメントと KPI

- ・シナリオプランニング
- ・プロジェクトのスケジューリングと進捗管理
- ・研究開発後期の効率的な運営

## 4. 研究開発部門全体のマネジメントと KPI

- ・研究開発前期のポートフォリオによる全体最適化
- ・プロジェクトの全体管理
- ・研究開発各部門の予実管理、稼働率、生産性管理

## 5. 戦略的な予算配分と開発の特徴に沿った KPI の設定

- ・上流下流での戦略的な予算配分
- ・ハイリスク型、ローリスク型の研究開発の特徴に沿った **KPI** の設定

休憩

## 6. 自社技術資源活用の基本方針と戦略的な外部資源の活用

- ・技術資源の集中と選択
- ・外部資源活用の **KPI**
- ・事業への貢献と機会損失

## 7. 研究開発でよくある失敗

- ・研究者のマインド設定
- ・いつまでも止まらない研究開発
- ・膨らむソフト開発、見えない回収

17:00

《質疑応答は随時》

※講師と同業企業・同職種の方はご参加頂けない場合がございます。予めご了承ください。